

# 日工販ニュース Vol.2—2017



<b>第48回 通常総会</b>	2
「会長挨拶」	富田 薫 2
「議事録」	4
「記念講演：トランプ後の日本」	与良正男 6
「懇親パーティー」	8
「平成29年度 日工販新役員」	16
<b>話題の技術</b> 「複合加工機による歯車加工技術」	
	ヤマザキマザック(株) 山本 博雅 18
<b>私の読書評</b> 「無私の日本人」	(株)立花エレテック 土井 隆 22
<b>工作機械と私</b>	京華産業(株) 二階堂 享 23
<b>議事録</b> 「理事会」「西部、中部 正・副会員懇談会」「東部」「西部ゴルフ」	24
<b>SE教育</b> 「平成29年度SE教育「基礎講座」実施報告」	
「平成29年度 SE講座・更新研修 講師打ち合わせ会」「合格者」	30
<b>統計資料</b> 「FA流通動態調査1」「マシニングセンタ・NC旋盤動向」	
「工作機械業種別受注額」	34
<b>リレー随筆</b>	三菱電機クレジット(株) 秦 良介 37
<b>初めての〇〇</b> 「会社生活に於ける私の初ショック“注文書を破らせた男の話”」	
	三立興産(株) 吉本 秀雄 38
<b>ひとくち豆知識</b> 「エコリース促進事業補助金制度について」	39
<b>スポーツ名場面</b>	堀江 綾 40
<b>私の好きなお店</b>	永原佳代子 41
<b>海外だより</b>	(株)牧野フライス製作所 吉村 洵也 42
<b>消息・行事</b>	43

# 会長挨拶



---

日本工作機械販売協会 会長

**富田 薫**  
(株)トミタ 取締役社長

---

先程開催されました日工販第48回通常総会が無事終了しまして、日工販会長に再選されました富田で御座います。宜しくお願い申し上げます。

皆様におかれましては、日工販に対し日頃よりご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

日工販は日本のものづくりと共に歩んできた長い歴史と実績がありまして、その会長職と言う大命を拝しまして身の引き締まる思いです。はなはだ微力では御座いますが、協会の発展、ひいては日本のものづくりの発展に貢献出来ます様、全力を尽くしますので、ご支援、ご指導を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。

(一社)日本工作機械工業会の今年(暦年)の受注予測は1兆3500億円であり、4月までの合計が4913億円で、概ねこの予測を上回っています。内需は多分5000億円を超える事が予測され、これを確実なものにする為に日工販会員の努力が期待されます。

さて先日ある雑誌(Wedge4月号)に日米の産業別生産性比較が載っていて、大変興味深く読みました。それによると、米国を100とすると、日本は化学が143.2、機械は109.6で、この2産業分野のみが米国を上回っており、我々が属すると思われる卸業、小売業は38.4、最低は農林水産の4.7であります。現状我々メンバー

会社の各社員は朝から晩まで身を粉にして働いているのにも拘わらず、アメリカと比べこの生産性の低さであり、更に生産性の低さと関係なく日本社会が残業を少なくする方向に進んでいます。日本の小売業はオーバーサービスである気もしますし、アメリカはその逆であります。我々業界のビジネスモデルを、お客様ファーストを考慮しながら変更する時期に来ている様です。当然各企業が自分に合ったビジネスモデルを模索する訳ですが、次の様な日工販の施策がその一助になればと考えています。

1. 会員各社営業マンが営業力、販売力アップ特に提案力アップをしてもらう為に、より充実したSE教育等を各会員に対して継続的に提供していきます。また初めて工作機械に接する新人に対しては日本工業大学のご協力を得て基礎講座を行っており、今年も第1回目の講座が先月行われ今月更に2回目、3回目の講座を行う予定で新人教育にも力を入れております。
2. 各種情報の提供です。補助金、税制改正、輸出規制の変更等の情報を迅速且つ的確に提供します。
3. 各メーカーと情報交換及び人脈作りです。各メーカーのご協力を得て、工場見学会、新製品情報勉強会、メーカー、会員各社営業マン同士の情報交換会等を行いヒューマンネットワークを構築してゆきます。

以上の諸施策を実行し、各会員メンバーがそれらに積極的に参加し、ユーザーが困った時に相談をされ且つメーカーより信頼される営業マンに育って戴くと同時に機械メーカー、商社、ユーザーの日本式バリューチェーンを強化して行きたいと考えます。今後共皆様のご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

# 議事録

日 時：平成29年6月5日(月)  
13:10~13:45  
場 所：第一ホテル東京

日本工作機械販売協会 第四十八回通常総会 平成二十九年六月五日 第一ホテル東京	総会 次第
一 開会	議長挨拶
一 議案審議	第一号議案 二十八年度事業報告 並びに決算承認の件
二 議案審議	第二号議案 二十九年度事業計画案 並びに予算承認の件
三 議案審議	第三号議案 会長・副会長承認の件
一 閉会	
記念講演	講師 与良 正男氏 毎日新聞専門編集委員 TBS系報道番組でコメンテーター
演題	「トランプ後の日本」

## [議 事]

### 1.開会(13:10)

宇佐美専務理事が進行係となり、「総会次第」に従い議事を進めた。

### 2.総会の成立

専務理事より「本日の出席社45社(53名)。うち議決権行使者は45名、有効な委任状提出29社、合計74社であり、現在の在籍正会員数は78社につきこの総会は定款の定めにより成立する。」旨報告した。

### 3.会長の挨拶

富田会長より、「会員各位のご協力をいただき只今から上程議案の審議をお願いいたします。」との開会の挨拶があった。

### 4.議案の審議

定款第14条に従い富田会長が議長に就き、第1号議案から第3号議案まで審議の結果、それぞれ次の通り承認された。

#### (1)第1号議案 平成28年度事業報告並びに決算承認の件

- ①議長が事業報告書の「概要」を述べた。
- ②専務理事が「決算報告書」の説明を行った。





山本監事(左)と三橋監事(右)

- ③議案の審議に先立ち議長は監事に対し監査結果の報告を求めた。
- ④監事を代表して三橋監事から「平成28年度の収支計算書、貸借対照表、諸帳簿、証憑を監査した結果、適正であることを認める」旨報告があった。
- ⑤議長が本件について出席者に諮り全員異議なく原案通り承認された。

**(2) 第2号議案 平成29年度事業計画案並びに予算案承認の件**

- ①議長が事業計画案を提示、専務理事から平成29年度の予算案の説明を行った。
- ②議長が本件について出席者に諮り全員異議なく原案通り承認された。

**(3) 第3号議案 会長・副会長の件**

議長より平成29年度、平成30年度の会長に富田理事、副会長に高林理事、池浦理事、赤澤理事を候補案として出席者に諮り全員異議なく原案通り再任が承認された。

**5. 議長挨拶**

議長は、以上をもって全議案の審議が終了したことを告げるとともに、出席者の協力に対し謝辞を述べた。(13:44)

**6. 閉会**

宇佐美専務理事より、閉会を宣し通常総会を終了した。(13:45)



お手伝い下さった受付の皆さん



# 『トランプ後の日本』

講師：与良 正男 氏

日工販第48回通常総会に引き続き記念講演会が156名の参加者を迎え  
14時10分より1時間35分にわたり開催されました。

## 講師略歴

1981年名古屋大学文学部卒業、毎日新聞社入社、1989年東京本社政治部、官邸、自民党、野党、外務省各担当キャップや政治部デスクを経て、2004年から論説委員。

2014年4月～ 専門編集委員として毎日新聞の社説や夕刊のコラム「熱血! 与良政談」などを担当。早稲田大学大学院客員教授、文部科学省熟議懇談会委員、18歳投票と主権者教育を提唱、総務省「常時啓発事業のあり方等研究会」委員などを歴任現在TBSテレビ・ラジオ、MBSテレビの報道番組でコメンテーターを務める。







講師 与良正男氏



司会 篠原総務委員長

毎日のようにトランプ大統領の発言が話題となる中で与良氏も講演のご準備が大変だったと思われます。当日発刊されたライバル紙の記事『トランプ氏心変わり、薄まる中国批判』を引用され記事の中の『アメリカ財務省が今月1日に発表した北朝鮮の核ミサイル開発に関連する新たな金融制裁ではロシア企業や個人を制裁対象に入れながら中国の企業や個人は対象からはずれた』という点は事実とし、北朝鮮問題のカードを握るのはやはり中国であり、中国が北朝鮮にはたらきかける、あるいは圧力をかけアメリカも関与を続けるといった中国とアメリカが主導してすすめることは、日本政府としては面白くないかもしれないが、それを側面援助してゆくしかないのではないかとのこと。トランプ氏はリアリストだから日本に目を向けず日本離れというより中国に関心があるということは多分間違いないと思われるが、『トランプ後の日本』については安倍首相もあせる必要は全くないと結んでいます。新聞記者となって36年の内30年近く国内政治を担当されてきたとこととで後半は加計問題を中心とした国内政治についてのお話がありました。



# 懇親パーティー

平成 29年 6月 5日 (月) 16:00~17:50 第一ホテル東京5階「ラ・ローズⅡ」

日工販第48回通常総会、記念講演終了後、来賓及び会員188名の皆様が出席し懇親パーティーが開催された。

宇佐美専務理事の司会の下、本日の総会で会長、副会長が再選されました旨の報告がされ、会長より挨拶があり、次いで経済産業省製造産業局産業機械課長 片岡隆一氏、(一社)日本工作機械工業会会長 飯村幸生氏より来賓のご挨拶を賜った。

また、新入会員の(株)LNSジャパン(メーカー賛助会員)、(株)アイダエンジニアリング(メーカー賛助会員)の紹介があり、ご挨拶をいただいた。

続いて日本工作機械輸入協会会長 中川貴夫氏よりご挨拶を賜り、同氏の乾杯のご発声で一同乾杯し、懇談が繰り広げられた。

定刻になり高林副会長より中締めが行われた。





## ◇来賓ご挨拶◇

経済産業省製造産業局産業機械課長

片岡 隆 一 様

皆様こんにちは。経済産業省産業機械課長の片岡でございます。

足元の景気でございますが、今工作機械の受注等が良い数字になっておりますが、アベノミクス安倍政権が発足して4年半が経ちまして名目GDP47兆円、それから企業収益過去最高水準、雇用170万人増加ということで着実に経済好循環の一步を着実に踏み出していると申し上げてよいかと思われま。お話しがございました工作機械4月の受注統計の金額は1337億円になりまして昨年12月位から5か月連続で前年比増ということでございまして、特に中小企業からの受注が増えているということなので間違いなく業況は回復基調といっよるしいかと思ひます。4月の鉱工業生産指数も4%増となりこれも大きな数字だと思ひます。ただ、足元の受注を中長期の構造改善あるいは経済発展に繋げていくということになりますと、やはり新しい基軸で新しい成長のストーリーが語られなければならないかと思ひております。

一部の方は既に聞かれているかもしれませんが、この言葉を是非今日は覚えて帰っていただければと思ひます。コネクテッド インダストリーズという言葉です。この言葉はどうしてできたかということですが、ドイツではインダストリー4.0でいわゆる4次産業革命の旗印を掲げてドイツはここ数年取組をしてきたわけでありますが、日本は若干先を越された感はありまして、旗印の言葉として明確にしてこなかったわ



けです。第4次産業革命にどう乗り切るか、あるいはもう一つの言葉としてソサエティ5.0という言葉がありますが、これを実現するために産業が変わらなければならない。これを申し上げているわけでありますが、この3月にドイツでCeBITという情報通信関係の見本市があったわけですが、安倍総理と世耕大臣がヨーロッパをまわりドイツの場で日独協調を含めた意味でコネクテッド インダストリーズという言葉をもさにインダストリー4.0の対応軸といひますか強調する一つの日本の大きな旗印として掲げさせていただいたということだす。

コネクテッドというのは何をどう繋げるのかということだすが、人、機械、あるいは販売と保守、本社と工場、あるいは国内と海外、それから製造業、サービス業、ありとあらゆるものを繋げるということだす。そうした意味で申し上げますと賀詞交歓会でも申し上げたことの繰り返しになるかもしれませんが、皆様方日工販様がまさに後程日工会様からご挨拶がありますが、工作機械を作る側と実際に使われ

るユーザーをまさにヒューマンでその力を使いながら繋いでいただいております。そうした繋がりを含めて、日本の製造業のものづくり、あるいは産業に付加価値をつけ加える中間にいらっしゃることを改めて今日も申し上げたいと思います。中小・中堅企業の設備の関係で言いますと、中期経営力向上設備と税制優遇ということで支援策を講じてまいります。こうしたことを通じて内需もしっかりと取り組んでまいります。

それから外需につきましては、アメリカではTPP離脱等がありますが、TPP等も含めてしっかりと高レベルで公正な協定をアジア内で進化させ取り込んでいくということでアセアンと

かヨーロッパとの関係も含めてしっかりと取り組んでまいりたいと思います。外需の関係でもしっかりと皆様方あるいは工作機械業全般の業績の向上に向けて我々も取り組を進めてまいりたいと思っております。

人材育成を含めて引き続きご努力を頂いております日工販さんのお取り組みに敬意を表しております。

最後になりましたが、本日お集まりの皆様方、企業各位の皆様方のご活躍、更には関係団体の方々の益々のご活躍とご隆盛を祈念いたしまして私からのご挨拶とさせていただきます。本日はおめでとうございました。本年度もよろしくお願いいたします。



## ◇来賓ご挨拶◇

(一社)日本工作機械工業会 会長

飯村 幸生 様

こんにちは。ただ今ご紹介に預かりました日工会会長の飯村でございます。本日は日本工作機械販売協会通常総会懇親パーティーにお招きいただきまして誠にありがとうございます。富田会長におかれましては続投ということでおめでとうございます。

私は5月31日に日工会の会長に就任したばかりでニューフェイスでございます。富田会長からは是非いろいろご指導・ご支援を賜りたいと存じます。よろしく願いいたします。まず数値から押えてみたいと思います。4月の受注状況を見ますと前年同月比34.7%増で1337億円という結果が出ました。1月から4月迄の累計受注額をみますと4914億円で5千億円弱ということで内外需とも活況を呈しております。国内については半導体関係、自動車関係、それから税制控除償却等色々な施策もあいまって活況を呈している状況になってきていると思っております。

外需も北米は好調、欧州についても緩やかに回復しており、中国については建設機械、車等について盛り上がってきており、全体的にこの1月から4月にかけて良い数値が残せたかと思っております。年初に花木前会長が1兆3千5百億円ということをおっしゃっておりますけれど、このペースでいきますとこの数値についてはクリアできるのではと考えております。

工作機械業界を見ますと世界での大きな曲がり角に来ているのかと思います。片岡課長



が言われましたように技術面ではコネクテッドインダストリーズを始め、インダストリー4.0であったり、機械や工業会を繋げるとつなげるという繋がることで生産効率等の改善にメスを入れるということで日本についても早く効果を発現させる事が重要ではないかと日工会でも思っております。工作機械のIoTを始め3次元の積層装置、ロボット等の技術は有望ということで、いろいろ共同歩調が進展しているということになります。

日工会も先般開催いたしました定時総会で定款の改正を行いました。その中で3次元の積層装置を工作機械の定義の中に入れるということで今後とも3次元の積層装置を手掛ける企業様に会員としての門戸を開くということで定款の変更をいたしました。需要面をみますと先端医療とか航空機、難削材加工需要が増加しております。方や自動車関係では中長期的に燃料電池車であったり電気自動車等が活性化してきているということで産業構造が変わる可能性を示している。市場面でもますますグローバル化が進んでおり中国を初め新興国

がこれから伸びていくなかで、工作機械の需要自体は中長期的に増加していきだろうと考えております。我が国の工作機械業界にとってもビジネスチャンスになってくるかと思っております。かたや地政学的に見ますと昨今のイギリスでのテロ等にわかりますように世界各国の状況は大きな変化点にあって工作機械をとりまく市況環境もそれらに何らかの影響を受けるという可能性もあるという状況かと思えます。このような環境のうねりの中で将来に渡って日本の工作機械業界の国際競争力を維持発展していくのが我々の使命と思っております。私どもメーカーとしましては常に新製品の開発に努めて新たな製品の開発・アフターサービスに力を入れたいと考えております。その裏付けとなるのは販売店の皆様がお客様から頂いて来られる注

文とお客様からのご要求、これをフィードバックさせることだと思っております。日工販の皆様が築き上げてこられたネットワークとノウハウで日本の工作機械を世界のユーザーに円滑に供給していくことができると思っております。製造と販売が車の両輪に例えられて何回もできます。私どもも日工販さんと連携をより一層強化してともに手を携えて世界のものづくりに貢献していきたいと思っております。従来にも増してご支援ご指導を賜りますようよろしくお願いいたします。

結びになりますが、日工販さんの一段のこれからのご発展と会場にご相席の皆様のご健勝ご繁栄を心より祈念しまして私のご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。



司会 宇佐美専務理事



中締め 高林副会長



新入会員紹介

## ◇来賓ご挨拶・乾杯◇

日本工作機械輸入協会 会長

中川 貴夫 様

日本工作機械輸入協会会長の中川でございます。本日は日本工作機械販売協会様の懇親会にお招きいただきまして誠にありがとうございます。はなはだ僭越ではございますがご指名を賜りましたので乾杯の音頭をとらせていただきます。私ども日本工作機械輸入協会でありましてが理事選挙がございまして、気持ちも新たに思っております。会員数は現在61社でありまして昨年と比べますと4社増えました。昨年の工作機械の輸入通関実績でございますが約970億円となっております、一昨年の1110億円から13%ダウンの状況となりました。前半が円高にふれたことで主要なお客様の大手であります輸出型の企業様が設備投資を若干躊躇されたのではと推測しております。先程来景気の良いお話がございましたが、輸入の工作機械に関しましては今年は非常に出足が鈍っております。4月までこの調子でまいりますと620億円位になるのではないかと思っております。後半何とかまき返しがあることを期待いたしております。どういう訳か分かりませんが今年は輸入に関しては良くない状況でございます。2017年ですが今欧州では重要な国政選挙が相次ぎまして、オランダ・フランスと続きまして秋にはドイツで連邦議会選挙が行われます。3月にはイギリスが正式にEU離脱を通知しまして、欧州だけではなくアジア情勢も非常に緊張が続いております。このような緊張の中で今年は9月18日から23日までの6日間ドイツのハノーバーにおきまして私どもの重要な行事



であります EMO 欧州国際見本市が開催されます。私どもの協会でも恒例の視察ミッションを組んでおりまして皆様のご参加を募集しており、営業活動の一助になれる事を期待しましてこの場をおかりしてご参加のお願いを申し上げます次第でございます。それでは簡単ではございますが私からのご挨拶にかえさせていただきます。乾杯をさせていただきますと思えます。声高々にご唱和をお願いいたします。日本工作機械販売協会の皆様、並びに本日ここに列席の皆様のご健康と益々のご発展を祈念いたしまして、乾杯!





第48回 通常総会







## 平成29年度 日工販新役員 (役職名は7月1日現在)

協会役職	会社名	役職名	氏名
会長	(株)トミタ	取締役社長	富田 薫
副会長	丸紅テクノシステム(株)	相談役	高林 利男
副会長	(株)不二	取締役社長	池浦 捷行
副会長	赤澤機械(株)	取締役社長	赤澤 正道
専務理事			宇佐美 浩
理事	伊藤忠マシンテクノス(株)	取締役工機部門長	林 芳行
理事	(株)兼松KKG	取締役FS本部長	岡元 裕二
理事	住友商事マシネックス(株)	東京産業機械部長	山田 達也
理事	双日マシナリー(株)	取締役社長	佐古 達信
理事	(株)豊通マシナリー	執行役員東日本営業部門部門長	西河原 靖
理事	(株)NalTO	取締役社長	坂井 俊司
理事	(株)ナチ常盤	取締役社長	佐々 裕
理事	三井物産マシンテック(株)	取締役社長	篠原 修
理事	三菱商事テクノス(株)	取締役社長	中野 智
理事	ユアサ商事(株)	取締役執行役員工業マーケット事業本部長	高知尾 敏之
理事	(株)井高	取締役社長	高田 研至
理事	三栄商事(株)	取締役社長	後藤 正幸
理事	サンコー商事(株)	取締役社長	小島 徹
理事	三立興産(株)	取締役社長	加藤 齊
理事	(株)東陽	取締役社長	羽賀 象二郎
理事	山下機械(株)	取締役会長	山下 隆蔵
理事	伊吹産業(株)	取締役社長	横幕 武夫
理事	植田機械(株)	取締役社長	植田 修平
理事	京華産業(株)	常務取締役	菅井 利雄
理事	(株)ジーネット	常務取締役営業本部長	寺田 慎一郎
理事	宮脇機械プラント(株)	取締役社長	宮脇 隆一郎
理事	(株)山善	上級執行役員機械事業部長	山本 隆邦
監事	(株)テヅカ	取締役社長	三橋 誠
監事	釜屋(株)	取締役社長	山本 佳孝
監事	(株)立花エレテック	産業メカトロニクス本部本部長	永安 悟

## 委員会委員長

委員会	会社名	役職名	氏名
政策委員会	(株)トミタ	取締役社長	富田 薫
総務委員会	三井物産マシンテック(株)	取締役社長	篠原 修
教育委員会	(株)不二	取締役社長	池浦 捷行
調査広報委員会	丸紅テクノシステム(株)	相談役	高林 利男
国際委員会	三栄商事(株)	取締役社長	後藤 正幸
東部地区委員会	三菱商事テクノス(株)	取締役社長	中野 智
中部地区委員会	(株)井高	取締役社長	高田 研至
西部地区委員会	植田機械(株)	取締役社長	植田 修平



会長兼政策委員長  
富田 薫



副会長兼調査広報委員長  
高林 利男



副会長兼教育委員長  
池浦 捷行



副会長  
赤澤 正道



専務理事  
宇佐美 浩



理事  
林 芳行



理事  
岡元 裕二



理事  
山田 達也



理事  
佐古 達信



理事  
西河原 靖



理事  
坂井 俊司



理事  
佐々 裕



総務委員長  
篠原 修



東部地区委員長  
中野 智



理事  
高知尾 敏之



中部地区委員長  
高田 研至



国際委員長  
後藤 正幸



理事  
小島 徹



理事  
加藤 斉



理事  
羽賀 象二郎



理事  
山下 隆蔵



理事  
横幕 武夫



西部地区委員長  
植田 修平



理事  
菅井 利雄



理事  
寺田 慎一郎



理事  
宮脇 隆一郎



理事  
山本 隆邦



監事  
三橋 誠



監事  
山本 佳孝



監事  
永安 悟

# 分かりやすい話題の技術

Inteligible Recent Technics ★

No.154

## 複合加工機による歯車加工技術



ヤマザキマザック(株)  
技術本部 ソリューション開発部  
先進加工技術開発グループ

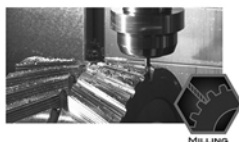
山本 博雅

### 1.はじめに

ヤマザキマザックでは、複合加工機INTEGREXの豊富な製品ラインアップと長年にわたる加工ノウハウの蓄積を活かして、「スムーズギアミリング」「スムーズギアホビング」「スムーズギアスカイビング」の3つの高効率な歯車加工アプリケーションを開発した。

マザックのギアアプリケーション

**SMOOTH  
GEAR CUTTING**



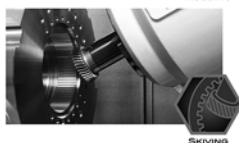
#### スムーズギアミリング

高価なCAD/CAMソフトウェアがなくてもプログラムの作成が可能。また、市販のエンドミルを用いた歯溝加工が可能であるため高価なホブカッタが不要。少ロットの歯車生産における大幅なリードタイム短縮とコスト削減を実現。



#### スムーズギアホビング

対話型プログラムに対応した加工パス作成機能で、加工プログラム作成時間を大幅に短縮。ホブソフトおよび工具退避機能で、歯車量産時に重要となる工具の長寿命化と加工時の安全性を飛躍的に向上。



#### スムーズギアスカイビング

高精度な汎用型工作機械により実用化が進むスカイビング加工。加工ワーク毎に理論と実験の両面からのアプローチにより、インターナルギアとスパークの高精度なスカイビング加工を実現。

図1 3つの高効率な歯車加工アプリケーション

これら3つの歯車加工アプリケーションにより、一台の汎用的な複合加工機で、旋削加工、ミリング加工、穴あけ加工などに加えて、歯車加工も、段取り替え無しで、ワンチャッキングで行うことが可能となった。従来からの、複数の専用機による一般的な製造方法に比べて、工程集約による加工時間短縮、設備機械台数の削減、加工精度の向上など、歯車の多品種少量生産における生産性向上とコストダウンを実現することが可能となる。

## 複合加工機による歯車加工の進化

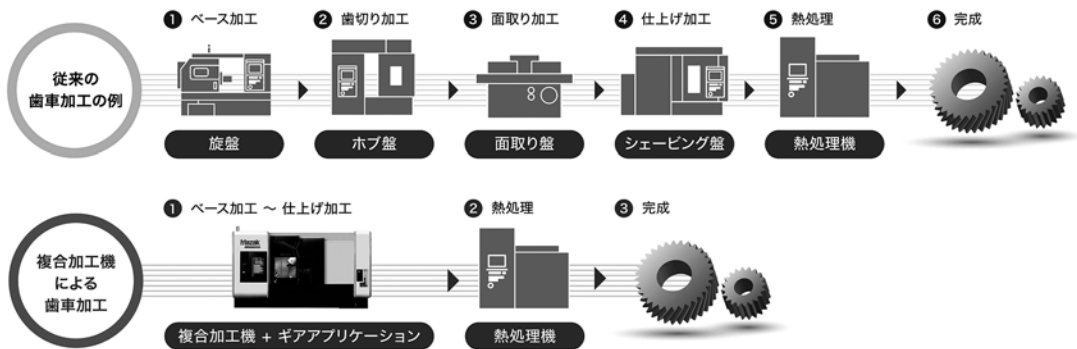


図2 複合加工機による歯車加工

## 2. スムースギアミリング

スムーズギアミリングは、ホブカッタなどの歯車専用工具ではなく、市販の標準的なエンドミルを用いる。また高価なCAD/CAMソフトウェアを用いることなく、対話型プログラムによって簡単に短時間で、複雑な歯車形状を加工するプログラムの作成が可能になる。複合加工機と、このスムーズギアミリングを組み合わせることで、特に小ロットの歯車や大径歯車において生産性の飛躍的な向上と、大幅なコスト削減を実現することが可能になる。更にマザックのCNC装置MAZATROL SmoothXには、図のように加工の3Dモデルを使用したシミュレーションソフト「バーチャルマシニング」が搭載されており、使用工具や被削ワークの形状を設定し、加工プログラムを読み込ませることで、機械干渉や、加工後の歯車形状を加工前に確認できる。



図3 スムースギアミリングによる歯車加工

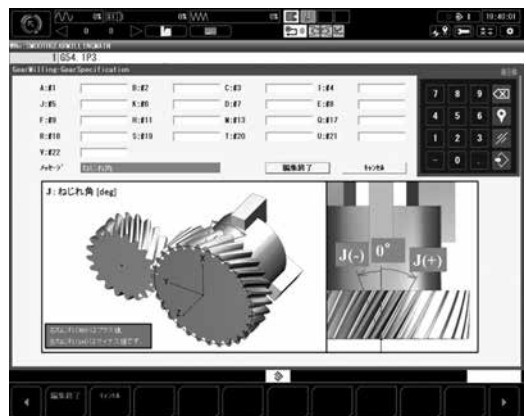


図4 スムースギアミリングの加工プログラム作成画面



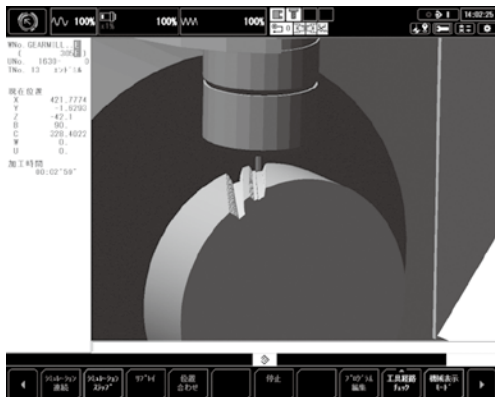


図5 シミュレーションソフト「バーチャルマシニング」

図6 スムースギアミリングにより加工したダブルヘリカルギア

### 3. スムースギアホビング

スムースギアホビングも同様に、対話型プログラムによって複雑な加工プログラムを簡単に、短時間で作成することが出来る。またホブカッタとワークが接触する部位を加工パスごとにシフトさせる「ホブシフト機能」や異常発生時に専用ボタンを押すことで、ワークと噛み合ったホブカッタを安全に退避させる「工具退避機能」により、歯車量産時に重要となるホブカッタの長寿命化と加工時の安全性を飛躍的に向上させている。

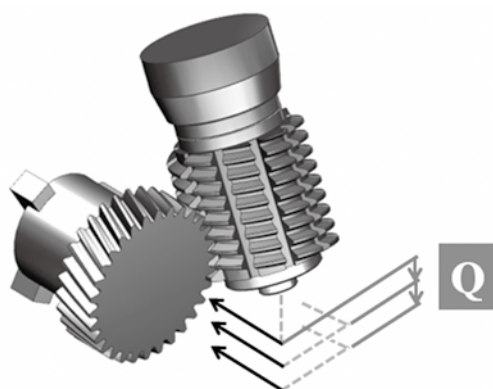


図7 スムースギアホビングの「ホブシフト機能」

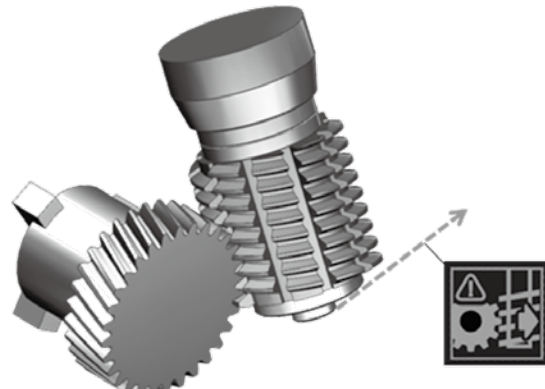


図8 スムースギアホビングの「工具退避機能」

### 4. スムースギアスカイビング

スカイビング加工はカッタと歯車を高精度に同期回転させて、ホブカッタやエンドミルでは加工できない内歯車を高能率かつ高精度に加工できる加工法であるが、近年の工作機械の高精度化と共に実用化が加速している。スムースギアスカイビングも同様に、対話型プログラムによって複雑なスカイビング加工プログラムを簡単に、短時間で作成することが出来る。またワークと噛み合ったスカイビングカッタも、異常発生時には専用ボタンを押すことで安全に退避させる「工具退避機能」により、加工時の安全性を向上させた。



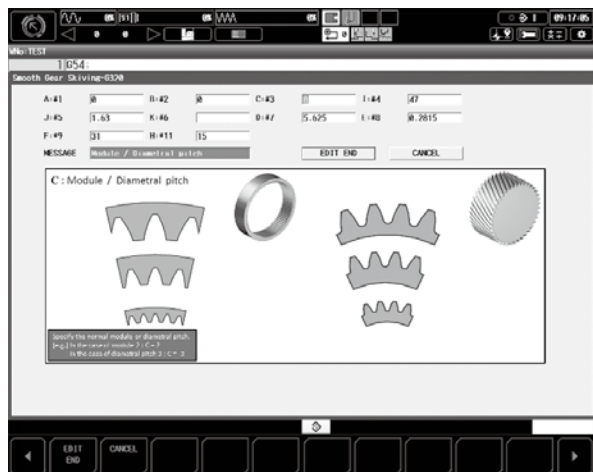


図9 スムースギアホッピングの加工プログラム作成画面

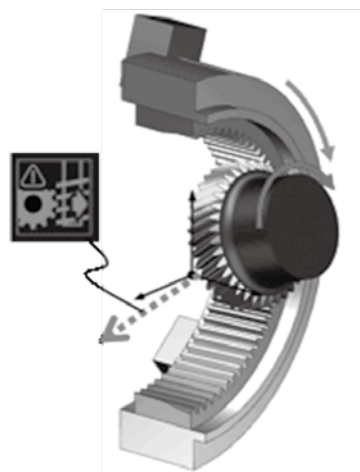


図10 スムースギアスカイピングの「工具退避機能」



図11 スムースギアスカイピングにより加工した内歯車（モジュール3、歯数102枚、材質S45C、歯先円直径300mm）

## 5. おわりに

複合加工機を用いた歯車加工の可能性は更に広がっていくことが期待され、今後もヤマザキマザックでは、これらの歯車加工アプリケーションをINTEGREXだけでなく、他機種へも水平展開していくと共に、歯車加工のさらなる高効率化、高精度化を推進することで、ものづくりのさらなる進化に貢献していく。

# 「無私の日本人」 著者：磯田道史



(株)立花エレテック  
産業メカトロニクス一部長

土井 隆

今回、『私の読書評』として『無私の日本人』という本を紹介したいと思います。私がこの本を読んだきっかけは、最近、著者である磯田道史氏を偶然テレビで見かけ、興味を持ったからです。『平成の司馬遼太郎』に例えられ、難しい古文書を現代人にも解りやすく紐解き、歴史を非常に身近な出来事として現代風に紹介するところに面白さを感じました。大半の著書が江戸時代の古文書を題材とし、どちらかと言えば、歴史に埋もれている無名の庶民や武士にスポットライトを当て、当時の時代背景をわかりやすく表現されています。因みに、他の代表作の『武士の家計簿』も大変面白い本でしたので推薦致します。

それはさて置き、本書では、江戸時代の仙台伊達藩が舞台で、穀田屋十三郎という歴史上においては全く無名の一庶民が主人公です。本書のタイトルの『無私』という言葉は、私利私欲が無いという意味で、『世の為、人の為』に生き抜いた庶民の生き様が、実話に基づき描かれていました。内容は、主人公が生まれ育った吉岡宿という宿場町が、年々増える重い年貢米と伝馬役という課役によって、廃藩寸前まで追い込まれていたが、この窮地を『庶民の力』で立て直し、再生させていくという感動の物語です。主人公は、一商人でありながら町の行く末を憂い、同志と共に立ち上がって、起死回生の秘策を計画し実行に移していきました。秘策とは、庶民が当時のお上（仙台藩）相手に大金を貸し付け、利子を取り、それを庶民に再分配するという手法です。言ってしまうと、簡単のように思いますが、実現するためには、藩に貸し付けるのに必要な『千両』という大金（現在の価値で約1億円）を集め、そして、身分に逆行した『仕組み』をお上に認めさせなければいけないという『二つの大きなハードル』を越えなければなりません。身分制度の厳しい江戸時代の日本においては、それこそ、お家潰し、切腹覚悟の『至難の業』であった事と推測します。しかし、庶民が自分の事よりも、何よりも町全体、藩全体、子孫の将来の事を優先し、命懸けで立ち向かったからこそ大願成就できたものと思いました。

著者はあとがきで、このような高潔で美しい『無私の心』は元来、日本人には自然に備わっており、世界に誇れる国民性だと言われています。確かに、現代でも、震災時に他人同士がお互い助け合い、被災者を励ましているシーンをテレビでよく見かけますが、世界から讃嘆される、稀有な国民性『日本人らしさ』をこれから私自身もっと誇りにしていきたいと思えます。

最後になりますが、私達が従事している機械業界はまだまだ先行き不透明な状態が続くと思えますが、このような時代だからこそ、温故知新、江戸庶民のような『無私の心』で企業や個人の垣根を越え、知恵を出し合い、助け合い、繁栄できるような環境でありたいと切望します。

# 工作機械と私



京華産業(株)  
機械部課長

二階堂 享

2000年4月に京華産業に入社し、多くの方に支えられ17年が経過しました。

就職難の時期でもありましたので正直どこでもよかったのが事実です。当社が何を扱っているのかわからず、唯一内定を頂いたため入社しました。取扱商品は、機械類、鋳物、自動車整備ツール、その他金属加工業で使用される多くの商品です。

配属されたのは、機械部で工作機械、プレス機、射出成型機等を販売する部門で当然のことながら、初めて耳にする商品であり見たことも聞いたこともありませんでした。

しかも、1台あたり数百万～数千万円もする高額商品であり、驚きと不安しかありませんでした。

当時はITバブルの後半ではありましたが絶好調の時期であり、毎週のように誰かが機械を納入しており、何とかなるのかなと思っていました。約1年後に私が営業担当として単独お客様へ訪問するころには、景気の下がり目ということもあり全く売れない時期でした。景気というのは言い訳で営業力が原因です。まず、商品知識以前の問題で、自分の親父世代の社長や担当者との会話すら続かないもどかしい日々が続き、いつ辞めようかとばかり考えていました。

しかし、上司や先輩たちのフォローもあり何とか機械も売れるようになり、現在に至ります。まずは、お客様と親しくなることが重要であると感じています。当然、メーカーの営業さんも同様です。特に、トラブルと一緒にクリアすることが大切だと感じています。正直なところ、商社でありますから弊社以外でも購入可能な商品ばかりですので自分を売り込むことが大変重要です。現在は、ネット社会でありメールやSNSを多用する時代ですが、直に会って会話することが重要であると思います。

さて、話は変わりつい最近の出来事で大きな失敗がありました。百万円程度の小さな装置でしたが、メーカーを呼ぶまでもないと自分で機種選定を行い販売した結果、大きな品質クレームを起こすことになりお客様に損害を与えたことです。お客様も私の言葉を信用してのことであり、メーカーの意見も聞かずに進めた結果でした。私の慢心が原因です。お客様だけではなく、その後対応いただいたメーカー、そして会社にも大変な迷惑をかけてしまいました。何事も初心にもどり確認が必要だと反省しています。

そしてもう一つ気づいたのが、私の言葉に「重みと責任」があるということです。少し前であれば、お客様も私の言葉は100%信用していなかったと思います。必ず、メーカーの訪問を希望していたでしょう。業界では若いつもりですが、今年で41歳になり若手ではなくなってきたことに気づきました。信用を築くのは何年もかかりますが、失うのは一瞬です。この歳で高い勉強代を払うことになってしまいました。改めて初心にもどり一生懸命に突き進みたいと思います。今後どうぞ宜しくお願い致します。

## 第268回 定例理事会

日 時：5月10日(水) 15:00～16:45

場 所：名古屋安保ホール101会議室

出席者：会長、副会長3名、専務理事

理事23名、監事1名、事務局1名

宛てには配布済みであるが賛助会員宛てにも配布し、セールスツールとして客先に配布しても良い事とした。

### [付議事項]

#### (1) 総会議案の件

- ①平成28年度事業報告案と決算案について：  
4月25日に増田公認会計士より監査が行われ三橋監事が監査に立ち会い決算結果が適正且つ問題がない事が確認されたこと専務理事より報告。  
一般会計及び教育事業特別会計の決算報告は第1号議案として総会付議が承認された。
- ②平成29年度事業計画案並びに予算案について：  
一般会計及び教育事業特別会計の予算案は第2号議案として総会付議が承認された。
- ③第3号議案会長・副会長については留任という事で総会への付議が承認された。

#### (2) 日工販事務所移転の件：

日工販事務所が入居している機械工具会館より建物立て替えのため来年5月までの契約と通知があったが、幸いに1分ほど駅寄りの専売ビルにほぼ同じ広さの部屋に入居出来る見通しとなったこと報告。家賃は負担増となるが、引越し費用、移転先改造費、旧い家具の処分費は機械工具会館側負担となり専売ビルへの転居は承認された。

#### (3) 調査報告書『日本自動車産業の将来展望と生産予測』の件：

(株)フォーインに作成依頼した報告書は正会員

### [報告事項]

#### (1) 流通動態調査2及び流通動態調査1平成29年3月結果

流通動態調査2では前回1月調査と今回4月調査の見通しを比較すると1.工作機械全体の見通しは良くなっている。2.市場別見通しは、10%以上上昇増加が目立ち全体的に良くなっている。3.製品別見通しも全体的に良くなっており特にロボット・FAシステムは10%以上上昇増加が目立つ。地域別については、国内は東部、中部は良くなっているが西部は弱含みが減ったが強含みは変化なし。海外についてはアジアが良くなっている。ユーザー別では中小企業が良くなっているが大企業の見通しは10%以上上昇増加が加わりかなり良くなっている。流通動態調査2では日工会内需報告と同様に3月の受注が急上昇している。

#### (2) 委員会報告

##### ①調査広報委員会：

中野委員長より報告。  
3月10日に委員会開催。委員長、委員5名、事務局2名出席。議事は大きく分けて平成28年度の活動報告と平成29年度事業計画。平成28年度については日工販ニュースの見直す部分について討議、5年にわたって『私の軌跡』というコラムがあり10年ほど前に『私と工作機械』というコラムにご寄稿頂いた方々に改めて10年後にこれを振り返ってご

寄稿頂いてきたが、退職、転職された方も多くなり対象者が少なくなり継続は難しいということで見直すことになった。平成29年度の事業計画については、日工販ニュース発行、予算案の策定、その他が主な議題。日工販ニュースについては、これまで通り5月、7月、11月、1月、2月の年間5回の発行。先ほどの『私の軌跡』は継続しないことにし、新たに『会社生活における私の初〇〇』例えば『会社生活における私の初出張』といったようにご寄稿される方には自由に題材を選んで頂く。『ひと口豆知識』『海外だより』の寄稿はこれまで通り委員会持ち回りで担当。平成29年度版の表紙は明るい青緑に決定。読みやすいようにもう少し写真を増やすことにする。予算案については昨年度並みとした。

## ②教育委員会

池浦委員長より報告。

3月31日に教育委員会開催。平成28年度の教育事業報告として受講実績は基礎講座120名で正会員79%、会員外8%、SE講座は132名で正会員60%、会員外14%、更新研修が70名、正会員81%、そして永世SE手続きは43名だった。収支実績では印刷機導入時メンテナンス料がフリーであったのが昨年度より予算時見込んでいなかった年間メンテナンス料がかかることになったので各講座のテキスト印刷費が増加して事業費が予算に対して増加している。受講生からのアンケート結果を報告。必要と思われる希望に対しては各担当講師にお願いする。委員長としては将来へのモチベーションを高めるような夢を語る講座内容を内田講師にお願いすることにした。平成29年度の教育事業方針については、各講座日程について、基礎講座は第1回5月18・19日、第2回6月15・16日、第3回22・23日に開催。SE講座については10月5・6・7日大阪に

て、12・13・14日東京にて、26・27・28日名古屋にて開催予定。更新研修については11月10・11日名古屋にて、17・18日東京にて開催予定。

## ③中部地区委員会：

高田委員長より報告。

3月14日に正・副会員懇談会開催。19名の参加。景況については、ある程度高いレベルで高止まりしながら多少儲かっている所もあれば多少下がった所もあったという状況の中で後数年は良いであろうと予測されるという事であった。その後懇親会を行った。各企業から悩みを聞いたが、やはり今の時代は労務問題という事で残業問題、有給休暇の取得等、産休明けの活躍の場をどうするかと言った話が種々出た。

## ④西部地区委員会：

植田委員長より報告。

3月15日に正副会員懇談会開催。1部は情報交換会、2部が懇親会。情報交換会は38社54名参加、懇親会は36社、53名参加。情報交換会では2015年の業績が良かった中で2016年業績については少しダウン傾向があるけれども、厳しい中決して悪くはないという報告だった。好調な業種としては、やはり自動車業界そして建機、半導体製造装置とこの三つは多くの皆さんから好調であるとの報告を受けた。全体的には昨年10月から年明けまでの少し曇りがちな部分があったけれども皆さん3月にあたっては好調な数字を出している。来年に向けては多くの皆さんがFA、ロボット、IoTこのあたりを中心にいろいろと活動して行きたいという報告を受けた。

## 西部地区 正・副会員懇談会

日 時：5月17日(水) 16:30~18:00

場 所：石田寿し

出席者：11社、11名

植田委員長より挨拶、赤澤副会長からスケジュールと予算の説明があり、情報交換と行事計画の取り決めを行い、懇親会に入った。

### ①情報交換：最近のマーケット情報(4月以降市況含む)について

#### ②平成29年度西部地区行事について

29年度の行事について討議し下記日程で開催することになった。

- ・ 懇親ゴルフ会  
6月7日(水)  
センチュリー三木ゴルフ倶楽部
- ・ 研修会  
9月20日(水)  
大阪産業創造館
- ・ 製品研修会  
11月1日(水)  
大阪産業創造館
- ・ 忘年講演会・懇親会  
11月29日(水)  
新大阪江坂東急REIホテル
- ・ 新春時局講演会  
平成30年1月25日(木) 予定  
大阪産業創造館 予定
- ・ 会員懇談会  
平成30年3月14日(水) 予定  
新大阪江坂東急REIホテル 予定

### 情報交換要旨

○先期は5%ダウンで終えた。下期後半の受注が順調であった事もあり4月以降は受注残もある中好調なスタートを切れている。ただ3月末発表のものづくり補助金についての採択成績はあまりよくなく、今期においてもあまり補助金を当てにしない予算建てをしている。グループ内においては半導体向け製造装置等向けの铸件が非常に好調である。

○先期は2%ダウンで終わった。東高西低感があり大阪は8%のダウンで全体の足を引っ張った感がある。4月以降期はものづくり補助金の採択もあり好スタートを切れている。ただ先期の1月から3月の受注が少なく今期の注残が少ない。目立ったところでは海外でのA社のMC機の受注が好調である。

○7月が決算。今期はものづくり補助金なども含め順調な状況で推移。今期の目玉としては、タイに2拠点目の出店をしてフォロー展開を開始。経済産業省のサポインのプロジェクトを組み受かった。うまく行けば大きな展開ができる可能性がある。

○先期は5%ダウンで終わったが関西は目標をクリア。兵庫県の建機・油圧系などの動きが活発化してきたのと、京滋地区の半導体製造装置が動いたのが大きな要因の一つである。ものづくり補助金の影響もあり、4・5月は好調、ただ6月以降は何とも言えないのが現状である。

○先期は前年比で少し悪かったが、目標値はクリア。今期においてもそう悪い状況ではないのではないかと予測。



○先期は10%ダウンで終えたが今期4月は130%の出来で好発進。近年の傾向として前期好調で後期に落ち込むケースがあるので気を抜けない。現在の市況としてはB社向けの建機・油圧関連の中国向けが非常に好調でどこまで続くのか注意してみている。反面C社の中国工場は2000台生産体制を組んでいるが現状500台ベースで非常に苦戦の状況もあり、実際の景気状況が読めない。社内状況としてはシステムインテグレーターに力を入れており社内の若返りを図っている。

○先期売上は達成したが受注が未達。先期後半受注の落ち込みの為、今期への注残が問題である。

今期は人事が大きく動いたため新体制で目標の達成を狙う。市況としては、航空機・建機等が好調。

○先期は10%のダウンで終わった。上期が悪く下期で盛り返しをかけたが届かなかった。先期後半の盛り上がりで今期への注残は平年通

りで推移。海外は中国が良く東南アジアについてもこれに追従し良くなってくると思う。半導体の業界で生産をわざと遅らせている傾向があり、この一年は品薄が続く模様。どうも価格アップを狙っているように思われる。

○先期は東が好調であったが西は8割程の達成しかできず苦戦した。今期に入り4・5月は順調。

ものづくり補助金などの政策頼み感をなくす努力をしている。また、西宮にあるシステムインテグレーション会社と資本提携し今後この業界に力を入れていく。

○5月末決算で今期は売上・受注ともに予算達成が出来そうである。ものづくり補助金も5割ほどの採択を得て結果に上乘せが出来ている。来期もそこそこの結果は出せると思われるが先食い感は否めない部分がある。傾向としては西日本が好調、また車関連の金型メーカーからの受注が多い。



## 中部地区 正・副会員懇談会

日 時：6月13日(火) 13:00~15:00

場 所：(株)井高 本社5階会議室

出席者：20社、20名

### 懇談概要報告

#### 1. 開会挨拶と日工販総会報告

高田委員長より挨拶があり、第48回通常総会について、議事全てが承認された旨の報告があり、記念講演の報告があった。

#### 2. 平成29年度中部地区行事計画と進め方についての意見交換

- 29年 8月 【若手営業マン研修会】  
(前年に引き続きPart2として)
- 9月 【懇親ゴルフ会】
- 9月~10月 【講演会】  
講師について候補会社に要請中
- 9月~10月 【講演会】  
講師は工作機械メーカーを予定
- 10月 【製品勉強会】  
EMO、メカトロテックに向けた  
製品勉強会開催
- 11月 【工場見学会】  
候補が挙げられ検討を進める  
こととなった
- 11月30日 【講演会、忘年会】
- 30年3月 【正副懇談会】

#### 3. 市場動向など意見交換

各社から現況の報告、問題点等が述べられ、要旨を取りまとめて記します。

2016期は個々には増収増益、あるいは減収減益、他地区は健闘するも中部は未達、全般ではますますといったものから苦戦を呈しているものまでであるといった混在した業況が見られた。

2017期に対しての状況は、横ばいの観測もあるものの下降も危惧されており、工作機械の納期問題も含めて懸念されている。補助金絡みも飽和状態にあり、応募も少なく期待薄であり、そもそも地域に依っては設備意欲自体が期待出来ない模様のところもある。

また、社内面の労務管理について各社各様で実情も異なり、苦慮されている状況が報告された。

## 東部地区 委員会

日 時：7月3日(月) 12:30~13:40

場 所：機械工具会館3階 第二会議室

出席者：中野委員長、野上副委員長、  
藤井副委員長、委員3名、  
事務局 1名

### 打合せ結果：

それぞれの事業等具体内容について検討の結果、下記の通り決定した。

### 平成29年度行事

#### 1) 情報交換会・懇親会

8月24日(木) 15:00~  
専売ビル8階 専売ホール

#### 2) 製品研修会

10月3日(火) 10:00~16:30  
機械工具会館4階

#### 3) 忘年懇親会・講演会

12月1日(金)  
KKRホテル東京

#### 4) 懇親ゴルフ会

12月9日(土)

#### 5) 情報交換会・懇親会

平成30年2月9日(金) 15:00~  
専売ビル8階 専売ホール

#### 6) 工場見学会：

平成30年3月1・2日  
見学先未定

## 西部地区 懇親ゴルフ会

日 時：2017年6月7日(水)

場 所：「センチュリー三木ゴルフ倶楽部」

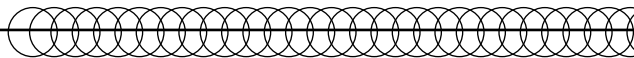
参加者：正会員8名、賛助会員メーカー7名、賛助会員リース2名、計17名

兵庫県三木市「センチュリー三木ゴルフ倶楽部」にて西部地区懇親ゴルフ会が17名の参加を得て開催され、参加者全員が和気藹々とプレーに励み懇親を深めました。プレー後には近況報告と情報交換を行い充実した一日となりました。

ダブルペリアでの上位入賞者は下記の通りです。

(敬称略)

順位	氏名	会社名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	藤田 典久	三菱商事テクノス(株)	43	54	97	24.0	73.0
準優勝	津田 正博	西川産業(株)	52	52	104	30.0	74.0
3位	岡本 淳	宮脇機械プラント(株)	57	52	109	33.6	75.4



## 平成29年度 SE 教育「基礎講座」実施報告

第25期「基礎講座」は営業経験3年未満の方々を対象にして開催されました。  
 定員一杯（120名）のお申し込みをいただき、今年度より2日間のコースで3回の実施となりました。  
 受講いただきました各社様へは心よりお礼を申し上げます。  
 受講生におかれましては得られた成果を今後の営業に生かされますようお願いいたします。

開催日：第1回 5月18日（木）・19日（金） 受講生40名  
 第2回 6月15日（木）・16日（金） 受講生40名  
 第3回 6月22日（木）・23日（金） 受講生40名

会 場：1日目（木） 日本工業大学工業技術博物館・機械実工学教育センター（埼玉県）  
 2日目（金） 機械工具会館（東京都港区）

### カリキュラム

第1日：午前、工作機械の概要、業界の現状を受講。  
 午後、工業技術博物館で動態展示工作機械類等を見学。その後機械実工学教育センターで、ターニングセンタ、マシニングセンタ、複合加工機、3Dプリンタ等を見学、放電加工機の加工実演・立形マシニングセンタによる加工実演を見学。  
 第2日：午前、工作機械ビジネスの変遷と現在そして近未来、生産財設備販売の心得と仕事を受講。  
 午後、プレス加工とプレス機械の基礎を受講、工作機械の要素・切削理論・加工材料を受講。



講義風景



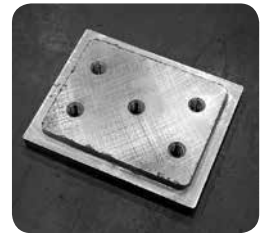
工業技術博物館見学



機械実工学教育センター



マシニングセンタ加工実演見学



マシニングセンタ加工実演  
加工後のワーク

日本工業大学のご協力を得て、動態保存されている機械稼働による動き、および実機による加工実演を体験され、工作機械の理解と親しみをかなり深められたと思います。受講生各位には会社へ戻られて今後それぞれの分野で活躍されますとともに近い将来日工販SE資格の取得に挑戦されることを希望いたします。

当講座の開催にあたり、ご協力をいただきました日本工業大学工業技術博物館館長松野教授をはじめ、講師の皆様には厚くお礼申し上げます。



懇親会風景



## 平成29年度「SE講座」・「更新研修」講師 打ち合わせ会

日 時：6月8日（木）15：00～16：30

場 所：機械工具会館 3階会議室

出席者：SE講師8名、更新講師3名、事務局2名

### 議 題：

#### 1) 29年度講座集合教育日程・開催場所

SE講座： 10月5日～7日（大 阪） 大阪研修センター江坂

10月12日～14日（東 京） 機械工具会館6階ホール、14日は専売ビル8階

10月26日～28日（名古屋） マザックアートプラザオフィス棟4F

更新研修：11月10日～11日（名古屋） マザックアートプラザオフィス棟4F

11月17日～18日（東 京） 機械工具会館6階ホール

#### 2) 28年度SE教育、SE講座・更新研修総括

28年度は教育委員会にて目標とした受講生に対し基礎講座（目標120名、実績120名）、SE講座（目標130名、実績132名）、更新研修（目標70名、実績70名）で、SE講座、更新研修とも目標クリア。

#### 3) 28年度講座アンケート報告

受講生のレベルも違うため、あくまでご参考。

## 日工販SE合格者 第213回発表

今回の発表は2017年5・6月の合格者20名です。

### 2017年5月合格者11名

認定No.	会社名	合格者名	認定No.	会社名	合格者名
17-26-3210	(株)兼松 KGK	澄川晋太郎	17-26-3215	宮脇機械プラント(株)	黒川 悠太
17-26-3211	サンワ産業(株)	中野 洋介	17-26-3216	宮脇機械プラント(株)	桑原 翼
17-26-3212	丸紅マシンツールズ(株)	細田 勇人	17-26-3217	三菱電機(株)	小川 剛史
17-26-3213	サンコー商事(株)	阿島 良	17-26-3218	昭和リース(株)	渡邊 隆英
17-26-3214	日工機材(株)	大島 涼平	17-26-3219	昭和リース(株)	高井 大地
			17-26-3220	三菱UFJ リース(株)	石川 広起



#### 4) 29年度SE講座・更新研修募集要項内容について

①カリキュラムの変更について

【東京会場】第1日目の3時限と、第2日目の4時限が入替わる。

②SE講座・更新研修募集要項の講座名、ご略歴、講座内容について

6月30日迄に、ご確認いただきご連絡をいただくこととなった。

#### 5) 29年度テキスト・テスト問題改訂について

テキスト・テスト問題について内容変更がある場合は、SE講座は8月10日、更新研修は8月31日迄に、原稿をいただくこととなった。

#### 6) ホテル予約先

大阪会場は新大阪江坂東急REIホテル、ホテルパークサイド、名古屋会場はメルパルク名古屋、東京会場はヴィアイン東京大井町を予約。

#### 7) 29年度基礎講座受講者

第1回 5月18・19日40名、第2回 6月15・16日40名、第3回 6月22・23日40名、計120名。  
キャンセル待ち15件あり。

#### 8) 29年度SE講座、更新研修受講者について

(一社)日本工作機械工業会の受注実績及び予想の傾向を参考に予測しており、目標はSE講座130名、更新研修70名。

### 2017年6月合格者9名

認定No.	会社名	合格者名	認定No.	会社名	合格者名
17-26-3221	三井物産マシンテック(株)	戸島 明	17-26-3226	ワシノ商事(株)	朝日 優
17-26-3222	三井物産マシンテック(株)	植竹 正幸	17-26-3227	大幸産業(株)	北森 春彦
17-26-3223	甲信商事(株)	有賀 卓也	17-26-3228	昭和リース(株)	中村 康祐
17-26-3224	甲信商事(株)	豊田 政雄	17-26-3229	三菱 UFJ リース(株)	清水 展成
17-26-3225	(株)東 陽	藤本 拓真			

# 統計資料

## 工作機械・FA 流通動態調査 1

統計1

単位百万円

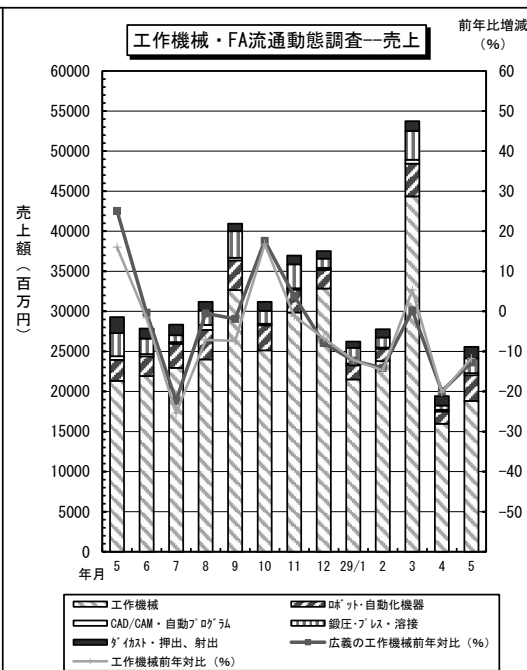
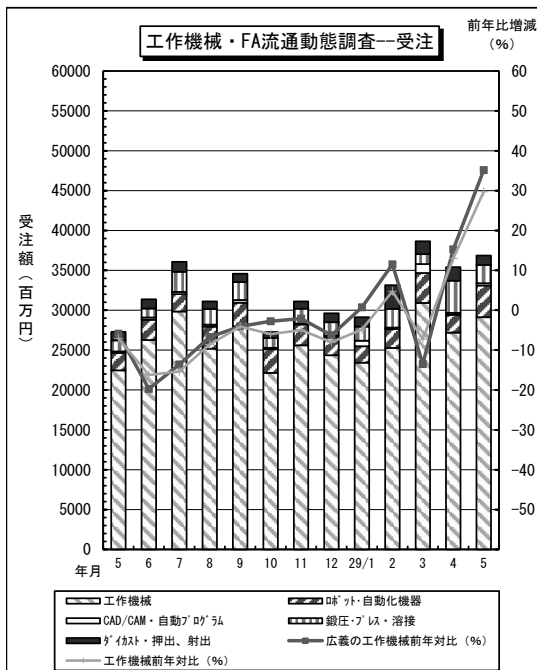
39社合計		受 注				売 上					
調査月次		29/5	前月比	前年比	29/1-29/5	前年比	29/5	前月比	前年比	29/1-29/5	前年比
広義の 工作機械	工作機械	29,129	7%	29.7%	135,930	5.7%	18,826	18%	-11.7%	124,461	-8.4%
	ロボット・自動化機器	3,980	79%	81.7%	14,388	-10.1%	3,197	109%	21.8%	12,133	-17.8%
	CAD/CAM・自動プログラム	273	11%	49.8%	2,508	3.1%	277	36%	-39.3%	1,334	-39.4%
	鍛圧・プレス・溶接	2,302	-43%	66.9%	11,719	61.6%	1,839	243%	-36.2%	9,192	-5.1%
	ダイカスト・押出、射出	1,178	-30%	10.3%	8,634	23.3%	1,426	21%	-28.8%	5,620	-19.1%
	小計	36,862	4%	35.1%	173,178	7.4%	25,566	32%	-12.7%	152,740	-9.8%
工作機械以外の扱い商品		17,960	13%	8.0%	89,747	-2.4%	12,603	5%	-18.6%	83,306	-4.3%
合計		54,822	7%	24.8%	262,925	3.8%	38,169	21%	-14.8%	236,046	-8.0%
従業員数		1,529	0%	1.3%							

統計2

単位百万円

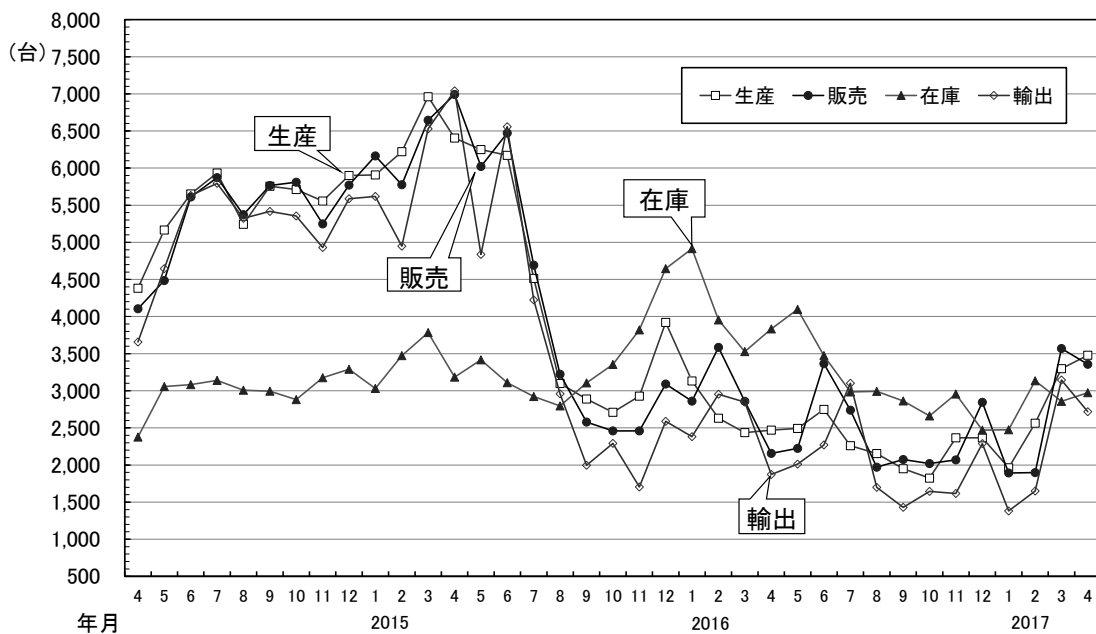
30社合計		受 注				売 上					
調査月次		29/5	前月比	前年比	29/1-29/5	前年比	29/5	前月比	前年比	29/1-29/5	前年比
内 訳	直販	26,231	12.4%	48.3%	124,368	14.2%	17,039	20.5%	-9.7%	106,577	-7.1%
	(内リース)	948	-2.6%	73.3%	4,924	51.0%	982	-7.7%	19.0%	6,367	33.5%
	卸	9,710	14.3%	24.7%	41,715	4.5%	5,564	5.9%	-5.6%	37,637	-4.2%
	輸入	1,434	31.8%	71.4%	5,262	-37.4%	1,241	-1.9%	11.8%	7,596	-4.6%
	輸出	9,333	19.8%	10.9%	36,956	-14.6%	5,996	33.9%	-3.3%	30,805	-3.6%
	(内間接輸出)	1,027	84.7%	50.3%	4,702	4.5%	649	30.1%	-32.4%	5,541	-26.3%
従業員数		1,077	0.1%	9.5%							

注：本調査は、20年4月より集計対象会員を見直し、前年分も集計し直した数値と比較した。  
 会員78社中統計1に関しては38社、統計2に関しては29社の回答を得て集計したものである。  
 折れ線グラフは工作機械及び広義の工作機械の前年比である。  
 参考までに今月のデータ提供会社総数は41社である。

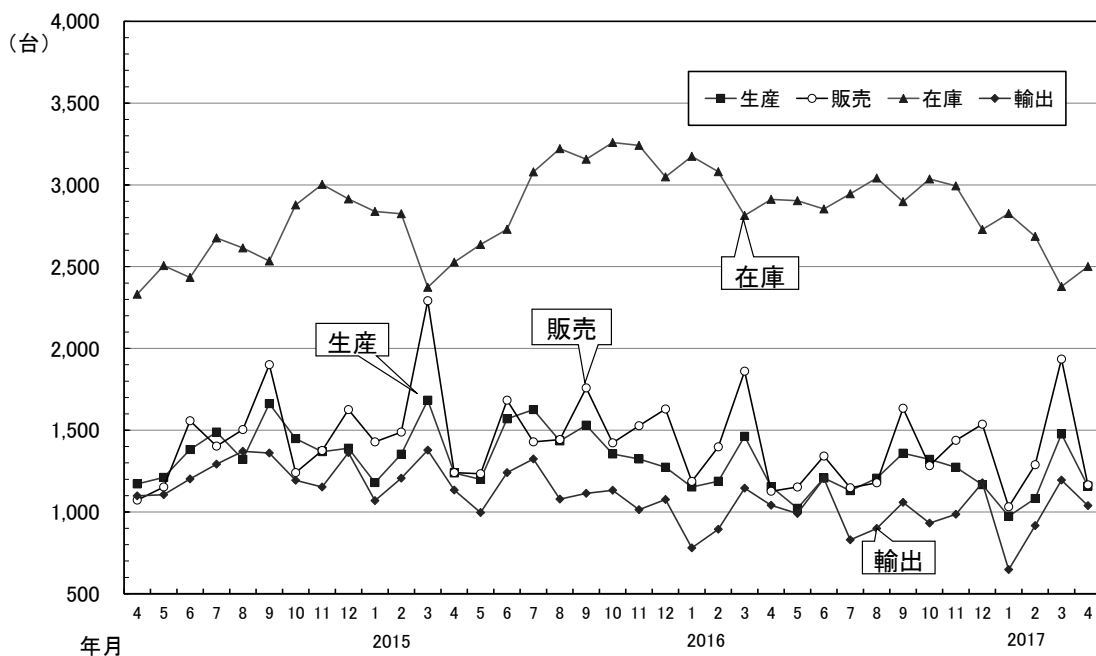


# 見てわかる 3年間の代表2機種のトレンド

## マシニングセンタ動向



## NC旋盤動向



出所：経済産業省「生産動態集計」、財務省「貿易統計」

## 工作機械業種別受注額(2017年5月)

6月21日発表

(単位：百万円・%)

	2016年 01~12月 累計	前年 同期比	2016年 10~12月 累計	2017年 01~03月 累計	前期比	前年 同期比	2017年 01~05月 累計	前年 同期比	2017年 5月	前月比	前年同月比
1. 鉄鋼・非鉄金属	18,154	98.0	4,823	3,982	82.6	92.2	7,206	102.0	1,840	132.9	131.7
2. 金属製品	22,804	79.8	4,890	5,140	105.1	112.2	9,868	132.4	2,581	120.2	170.1
3. 一般機械	207,113	93.4	48,886	51,096	104.5	106.4	91,693	116.0	20,488	101.9	129.8
(うち金型)	30,778	95.6	6,825	6,333	92.8	77.4	2,129	78.5	759	183.3	106.5
4. 自動車	174,853	85.7	48,444	42,542	87.8	96.8	75,155	108.6	14,728	82.3	125.3
(うち自動車部品)	115,986	80.7	30,791	30,883	100.3	105.1	54,294	116.9	10,970	88.2	123.3
5. 電気機械	26,282	97.6	7,656	6,912	90.3	100.1	13,581	138.3	3,713	125.6	220.1
6. 精密機械	19,600	92.8	5,008	5,466	109.1	121.4	9,927	136.0	2,542	132.5	191.8
5~6. 電気・精密計	45,882	95.5	12,664	12,378	97.7	108.5	23,508	137.3	6,255	128.3	207.7
7. 航空機・造船・運送用機械	30,076	96.6	5,253	5,861	111.6	60.5	9,382	66.4	1,984	129.1	86.9
(うち航空機)	16,412	100.9	2,436	3,465	142.2	67.1	4,877	60.1	948	204.3	58.6
3~7. 小計	457,924	90.7	115,247	111,877	97.1	98.9	199,738	111.3	43,455	97.9	132.4
8. その他製造業	12,292	84.8	2,445	3,765	154.0	132.7	6,639	123.8	1,564	119.4	114.3
9. 官公需・学校	2,762	81.5	1,417	481	33.9	131.8	600	131.6	83	230.6	267.7
10. その他需要部門	9,524	98.0	2,076	2,852	137.4	134.1	4,497	122.0	1,010	159.1	126.3
11. 商社・代理店	7,085	107.4	1,397	2,652	189.8	110.0	3,719	92.8	526	97.2	57.3
1~11. 内需合計	530,545	90.5	132,295	130,749	98.8	100.8	232,267	111.9	51,059	101.2	131.4
12. 外需	719,458	80.4	181,399	226,911	125.1	120.3	388,981	123.7	78,828	94.7	120.3
1~12. 受注累計	1,250,003	84.4	313,694	357,660	114.0	112.3	621,248	119.0	129,887	97.1	124.5
(内NC機)	1,224,657	84.5	305,846	351,008	114.4	111.9	610,376	118.8	127,740	97.0	124.4
販売額	1,280,584	83.6	313,964	348,225	110.9	92.2	540,930	99.4	102,291	113.1	117.7
(内NC機)	1,254,652	83.5	308,750	341,625	110.6	92.6	531,025	99.9	100,694	113.5	118.4
受注残高	522,527	86.0	522,527	531,962	101.8	97.0	601,881	102.5	601,881	104.8	102.5
(内NC機)	505,184	87.3	505,184	514,567	101.9	98.2	583,571	103.7	583,571	104.9	103.7

出所(一社)日本工作機械工業会



## リレー随筆



三菱電機クレジット(株)  
中部支店第二営業部第二営業課  
秦 良 介

この度、三菱商事テクノス(株)の松崎様よりバトンを受けました、三菱電機クレジット(株)の秦と申します。今回このような業界の皆様の目に留まる随筆にお声がけ頂きまして、とても感謝しております。恐縮ですが暫しお時間を頂ければ幸いです御座います。

私は、2013年に新卒として三菱電機クレジット(株)に入社致しまして、最初の配属先の東京支店に3年間勤務後、中部支店へと転勤となり5年目の現在までの計4年間と少々をこの工作機械業界でリースの営業をして参りました。

新入社員としてこの業界へ足を踏み入れた当初は、弊社と再リース契約中のお客様を巡回させていただいておりました。巡回と言っても、当時リースに関する知識もほとんどなかった私が飛び込みでインターホンを鳴らし、「設備担当者の方に挨拶に参りました。」と訪問しており、ご多忙中のところ申し訳なかったものです。そんな突然の訪問にもお時間を割いてくださる社長様や設備担当者の方がおられ、業界や機械のこと等を教えて頂いた優しさに、今でもとても感謝しております。

さて、私の仕事は設備投資におけるファイナンス面の提案となりますが、商社様と比べてお客様と関わらせていただく機会も少ないため、設備投資の際にどうしても一発限りの金利勝負になってしまう場面もございます。

しかしながら、リースにおいてもお取引先様から「人」で選定して頂ける場合もございます。そのために普段からお客様に顔出しさせて頂き、補助金や税制の話を展開することやご相談に乗ること等を通して、一人の営業マンとして信頼していただける関係性を築けることを目指して活動しております。

まだまだ若輩者でございますので即答できないことも多いのですが、いただいた宿題をひとつずつ解決していくことで、お取引先様から信頼を得られるよう成長できればと思っております。

最後にプライベートの話になりますが、私の趣味は学生時代から続けているテニスです。現在も毎週末の楽しみとなっております。

転勤による新しい土地では、当初は休日をどう過ごすか不安になったものでした。そんな中でもインターネット等を通してテニスをする機会を得ることが出来、そこから交友関係も広がったため、この趣味を続けてきて良かったと思っております。

今後は社会人になってから始めたゴルフも、テニスと同じくらいのめり込める趣味にできたらと思っております。ゴルフは会社や取引先の方とも一緒させていただける機会の多いスポーツです。まだまだひどいスコアですが、いつかこのゴルフも皆様との交友関係に活かせるような日が来ることを楽しみに、日々精進して参りたいと思っております。

さて、今回は(株)日本精機商会の栗田様にバトンをお渡し致します。ご多忙のところお引き受けいただきありがとうございます。

それでは栗田様、宜しく願い申し上げます。



# 会社生活に於ける私の初ショック



## 注文書を破らせた男の話

三立興産(株) 三河ブロック長 執行役員 吉本 秀雄

1981年1月に中途で入社し、大阪営業所に配属され御用聞き営業を2年間やった後、名古屋本社に転属となった。35年ほど前の話なので、当社でも当時のことを知る人間は数少なくなってきたが、当時は武勇伝と言ってもいいような話がゴロゴロしており、社内外を問わずあちこちで聞かされたものだ。この話もその中のひとつ。

「部下は上司を選べない」というのが配属された課の上司の口癖で、考えてみればなかなか深い言葉だ。それはつまり、いったん部下となった以上は上司の流儀に従えということであり、逆に上司は部下の面倒をみていく責任を負うという意味を含んでいる訳だ。とにかくこうやって始まった先輩とのツーマンセルでの客先回りは非常にシビアだったが、「御用聞き」ではない営業に必要なことをいろいろ教わった。

新しくNC旋盤を検討しているという話で、ある顧客からある鉄工所を紹介いただいた。その鉄工所ではあるメーカーのNC旋盤を数台使っており、今回も同じメーカーのものを欲しがっていた。何度も通ううちにすっかり打ち解け、その鉄工所の社長も当社から機械を購入しても良い、ということまで来た。当社からは別のメーカーのものを勧めていた。当然、新規ユーザーで新規メーカーの売り込み成功と思い、上司と喜び勇んで訪問すると、その社長が笑いながら注文書を出してくれた。

ところが、その注文書にはこちらが勧めていたメーカーではない従来のメーカー名が書かれていたので、話が膠着してしまった。その社長にしてみれば、本来ならば従来の商社から買うべきものを別の商社である当社から買うことで、こちらの顔を立てることにのみなり一件落着と考えたのだろう。しかし、上司は納得しなかった。なぜ当社がこのメーカーを勧めるのか、時間をかけて話し始めた。何時間かかったのか思い出したくないくらいの長い時間が経った。突然、その社長が顔を真っ赤にして注文書を破いた。いったん、この話は白紙に戻すと言われた。違うメーカーだって構わないじゃないか、「受注優先」じゃないのか、注文書も出ているのに。そういう思いで、その時その音を聞いた。

会社生活に於ける私の初ショックは、だから、注文書を破られたあの時のあの「音」だ。

「たかが1台の話」と笑うことは許されない。1台を笑う者は、1台に泣く。たとえば、そのメーカーの機械を100台どうしても売らなければならない状況があるとして、そのたった1台が欠けても100台には達しない訳だから。

どんな話にも後日談があるように、この話にも後日談がある。それは、こちらの思いがあの社長に通じたのか、数日後こちらが勧めたメーカー名入りの当社宛での注文書を受理したという結末だ。

あの時代、武勇伝はいくらもあった。強烈な個性と仕事への熱意量の大きさが武勇伝を生まれさせるのではないかな？

どの時代でも武勇伝は生まれる。もちろん、この時代でも。

# エコリース促進事業補助金制度について

## 制度の仕組み

- 補助金額は補助金の対象となる低炭素機器部分のリース料総額の2%~5%。
- 平成29年度予算額は19億円
- 補助金申請は環境省から指定を受けた指定リース事業者が行います。  
そのため、リース先では補助金申請の手続きは必要ありません。
- 本制度では導入機器によるCO<sub>2</sub>削減量等のモニタリング報告は必要ありません。
- 対象機器により申込時期が異なります。(岩手県、宮城県、福島県、熊本県に本店所在地がある、あるいは物件が設置される場合は、補助率10%で6月6日より受付開始、4県以外の工作機械・鍛圧機械は9月6日より申込み開始で補助率はリース料総額の2%~\*3%)  
\*21世紀金融行動原則に署名しているリース会社は1%上乗せの3%

## 利用要件

- 対象リース先は個人事業主、中小企業であること。  
※中小企業：資本金の額又は出資の総額が3億円以下の会社法上の会社。  
医療法人等で常時使用する従業員の数が300人以下のもの。
- 政府機関、地方公共団体又はこれに準ずる機関でないこと。

## 対象となるリース契約

- 環境省が定める基準を満たす低炭素機器であること。(ホームページで対象機器確認可能)
- ファイナンスリース取引
- 日本国内設置する契約であること。
- 新品であること。
- 1リース契約の補助金の対象となる低炭素機器部分のリース料の総額が、2億円以内、65万円以上であること。
- 中小企業経営強化税制の即時償却又は税額控除10%(\*7%)は、経営力向上計画の認定を受けた先は併用可能  
\*資本金3千万円超1億円以下の法人は7%
- 経営力向上計画の認定を受けた先は、固定資産税が3年間半分に軽減される特例も併用可能(資本金1億円以下)

## 補助金のスケジュール

- 補助金申込書類の受付期限 平成30年2月28日
- 補助金交付申請書類の受付期限 平成30年3月7日
- 補助金実績報告書類の受付期限 平成30年3月16日
- 補助対象機器の借受証が、平成30年3月12日までに原則発行される見込みであることとします。

# 感動したスポーツの名場面

## 堀江 綾

私の母はフィギュアスケートの日本代表、羽生結弦選手のファンです。母曰く「羽生選手は精神面が男前。自分に負けない強さがある」と、羽生選手のフィギュアに対する姿勢の魅力について熱く語っています。私自身、フィギュアスケートに詳しいわけではありませんが、食卓を囲み母と共にフィギュアスケート世界選手権の実況中継を見ているうちに、羽生選手の演技に魅了されていました。

2014年、フィギュアスケートグランプリシリーズ中国杯。中国のハンヤン（閻涵）選手が6分間練習中に衝突。男子スケーターのスケートは時速30キロメートルとも言われており、車と同じぐらいのスピードで衝突したと考えればその衝撃は相当なものだと想像がつかます。氷や羽生選手の衣装には頭からの出血を物語る赤いシミ。監督、会場の観客、選手、視聴者、誰もがもう演技は出来ないだろうと思った事故でしたが、なんと羽生選手は包帯を頭に巻いた姿で、氷の上に再び姿を現しました。演技では転倒するものの、シットスピンを成功させ、4回転ジャンプを回り切るなど、信じられない演技で皆を驚かせ、滑り終えた羽生選手の涙に、誰もが感動しました。



この世界選手権を見て、羽生選手の演技の実績や魅力は、「自分に打ち勝つ力」があってこそその結果なのだと感じました。羽生選手の場合は怪我の痛みでしたが、人生においてつらい事や悩みは様々です。様々な壁にぶつかった時、弱い自分に負けず立ち向かうことは大変勇気が要ります。私自身も、「自分に打ち勝つ力」をこそぞという時発揮できる人間になれるよう、日々努力していきたいと思いました。

(株)テツカ 仕入部

# 私の好きなお店

永原 佳代子

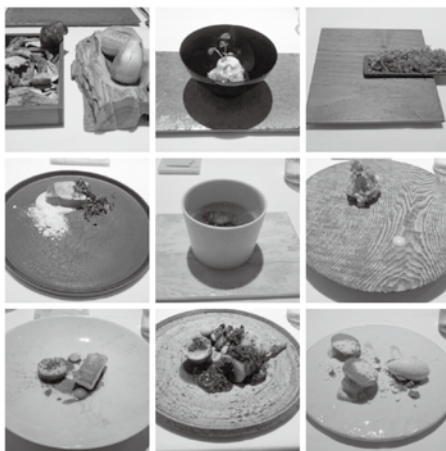
三越前駅から徒歩3分ほど、ビル街の地下にひっそりと佇むフランス料理「La Paix (ラペ)」。以前、日本橋高島屋近くの「オーグドゥ ジュール メルヴェイユ」で活躍されたお二人が2014年に独立されたお店です。

こちらのお店の好きなところは、お味は勿論なのですが、食材やうつわなどそこかしこに和テイストを感じることができ、日本の四季をフレンチで楽しめるところです。お料理は気取ることなく、しかし妥協のない松本シェフのお人柄そのものといったところです。

メニューはランチ・ディナーともにおまかせコースで、最初から最後までテンポよく、五感で絶品料理を楽しむことができます。

また楽しい企画も不定期にあり、おでん屋さんになることも。この期間限りは、店先に行燈、店内に入ると、演歌が流れ、いつもと全く違った雰囲気味わえます。たった数日間の為にこれほどの投資をするのか?!と驚きましたが、これもラペらしいおもてなしです。

満腹の帰り道に「また食べたい」とすぐ思えるお店…こういうお店はホンモノであると私は思っています。素敵なお店ですので、ぜひ足を運んでみて下さい。



(丸紅テクノシステム(株) 営業第二本部)

## 『La Paix』

住所：東京都中央区日本橋室町  
1-9-4 B1F  
電話：03-6262-3959

# 海外だより

(株)牧野フライス製作所 吉村 洵也



タイの首都バンコクに住んでいます。東京より飛行機で約6時間、観光地としても非常に有名な東南アジアのこの国は南北に細長く、横から見ると象の顔に見える、特徴的な形をしています。面積は51万平方キロメートルと日本のおよそ1.3倍ですが、人口は6700万人と日本の半分ほどの人口となります。また気候は南国特有の熱帯気候で年間を通して気温が20度を下回ることがほとんどありません。そのせいかタイの人たちは非常にマイペースで朗らかです、このタイ人の気質が観光国としての高い評価を築いていると言われてしています。そんなタイに駐在して7月で3年3ヶ月ですが、赴任してみて初めて知った驚きの風習が3つあります。

まず1つ目は、朝8時と夕方6時の国歌斉唱。毎日朝8時と夕方6時に全てのテレビ、ラジオから国歌が流れます。驚くことにこの国歌が流れている間は、仕事している最中の人を除き、皆、直立不動で間かなければならないという法律があり、これを破った場合は不敬罪で逮捕されることもあるそうです。ご存知の方も多いと思いますが、タイ王家は1946年にプミポン前国王が即位されて以降、長年農業技術の指導や用水の整備など、国民所得を挙げるための政策を数々実施してきたため、タイ国民に非常に尊敬されています。そういった背景がこのような特徴的な事柄に現れていると感じています。

2つ目が、酒類の販売禁止期間があること。タイは国民の99%が仏教徒という仏教国です。街中でもオレンジ色の袈裟を纏った僧侶をよく見かけますし、その僧侶に飲食物をお供えし、お経を読んでもらう人々の姿も日常のように見かけます。このような仏教国であることもあって、酒類の提供・販売には時間制限があります。まず、毎日昼11時から14時、夕方17時から23時までの時間以外はスーパー、コンビニなど小売店での酒類の提供・販売が禁止されています。さらに仏教、王室関係の祝日、選挙の前日などは終日酒類の提供・販売が禁止されます。私もお酒は好きな方なので、こういった日の前日夜22時頃に突然気づいて、スーパーに駆け込むことが多いのですが、お酒好きのタイ駐在員の方であれば一度は経験する、あるあるではないでしょうか？



コンビニでの酒類販売出来ない旨の表示

最後の3つ目が洪水です。数多くのお客様が甚大な被害をこうむられた2011年の大洪水ほどではありませんが、雨季である5月から10月まで突発的な豪雨が降ると、工業団地、市街地を問わず、かなりの頻度で車での通行が困難な洪水が発生します。もちろんタイ政府の努力により排水効率など改善は見られているのですが、そもそもバンコクの海岸から北へ50km離れているアユタヤでも標高が3mとほぼ水平な地形となっているタイでは、劇的な改善を行うことが難しく、豪雨が降ると通行不可能区域が



増え普段1時間の道が、3時間以上も微動だにしないという経験をされた方も数多くいると思います。

そんなタイも製造業の面で見ますと、親日国ということもあり1980年後半から数多くの日系企業が進出し、東南アジアの一大産業集積地として注目を集めてきました。特に2009年のリーマンショック以降は



洪水の発生

チャイナプラスワンとして、リスク分散を兼ねた東南アジアの中心拠点として開発・製造力を強化するお客様や、昔のように低価格品だけではなく、付加価値の高い製品に取り組まれるお客様が増えてきています。

牧野フライス製作所のタイ拠点であるMakino (Thailand) 社では、2015年バンコク周辺に新テクニカルセンターを開設し、デモやテスト加工用に最新機を設備しました。今後もタイと日本の文化の違いを楽しみながら、変化するお客様のニーズを迅速にサポートしていきたいと思っています。

## 行事予定

政策委員会・定例理事会	9月6日(水)	大阪・大阪産業創造館
政策委員会・定例理事会	11月9日(木)	名古屋・安部ホール
西部地区講演会・忘年懇親会	11月29日(水)	新大阪江坂東急REIホテル
中部地区講演会・忘年懇親会	11月30日(木)	メルパルク名古屋
東部地区講演会・忘年懇親会	12月1日(金)	KKRホテル東京
定例理事会	平成30年1月11日(木)	第一ホテル東京
賀詞交歓会	平成30年1月11日(木)	第一ホテル東京

## 展示会

難加工技術展2017・表面改質展2017	9月6日(水)～8日(金)	パシフィコ横浜
測定計測展 Measuring Technology Expo 2017	9月13日(水)～15日(金)	東京ビッグサイト
EMO HANNOVER 2017 欧州国際工作機械見本市	9月18日(月)～23日(土)	HANNOVER 国際見本市会場
MECT2017(メカトロテックジャパン2017)	10月18日(水)～21日(土)	ポートメッセなごや (名古屋市国際展示場)
2017国際ロボット展	11月29日(水)～12月2日(土)	東京ビッグサイト



## 会員消息

### 社名変更・住所変更

東部地区正会員 丸紅テクノシステム(株)(旧社名 丸紅マシンツールズ(株))  
取締役社長 永田俊哉  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-2 御茶ノ水杏雲ビル15F  
TEL.03-5283-1200 FAX.03-5283-3014

### 代表者変更

リース賛助会員 近畿総合リース(株) 取締役社長 八木正人

## 編集後記

- 6月初めに気象庁が出した予報では、7月の気温は西日本では平年並みまたは高い確率が40%、降水量は北・西日本太平洋側と東日本海側で平年並みまたは多い確率が40%で梅雨末期の大雨に注意とのことでした。本号が皆様のお手元に届くころには、梅雨明け宣言となり本格的な夏の暑さを迎えている場所もあることと思います。

気温が高めだと納涼を求めてビアガーデンに行く方も多いいと思います。気温が高めで降水量も多いとエアコンの需要も増えると思います。また、夏の季節ものの売上也期待ができるのでしょうか。景気の面ではありがたいことだと思います。

ところで、7月を代表する日本の伝統的な花のひとつに「朝顔(アサガオ)」があります。アサガオはつるを伸ばして成長するので古くから日よけに利用されてきました。皆様のお宅でもアサガオ、ヘチマやゴーヤといった植物を栽培し夏の日よけ対策にされている方もあろうかと思ひます。今年の夏の電力が供給不足とならぬよう個人でも会社でも工夫して「節電」に努め、「良い夏」を過ごしたいと思ひます。(中村)

- 鬱陶しい梅雨の季節になりました。今年の梅雨入りはほぼ平年並みで、関東甲信地方は6月7日に梅雨入りしました。

以前に「ローマ人の物語」(ハードカバー単行本で1992年から毎年1冊ずつ刊行され2006年に15巻で完結されたもの。)第1巻が発刊され買って読み始めたのですが、世界史が苦手なため紀元前の話は読み難く、1巻で挫折してしまった苦い思い出があります。

そのあとドイツに2回 延べ10年間駐在し、代理店があったイタリアに何度となく訪れ、ローマの史跡を見聞きたこともありました。

今では電車の中で単行本を読むのを日課にしており、塩野七生さんの「ローマ人の物語 文庫本 全43巻」が棚に揃っていたのを見て飛びついてしまいました。文庫本であれば読めるだろうと奮い立って第1・2巻「ローマは一日にして成らず上・下」を購入し、20数年振りにチャレンジ開始。

あれから1ヶ月経ちましたが、今は10巻目「ユリウス・カエサル ルビコン以前 下」を読んでいます。この調子で、途中で挫折しないで10月の誕生日までに全43巻読破したいと思ひます。(菊地)

「日工販ニュース」 Vol.2—2017

平成29年7月15日発行

発行

日本工作機械販売協会  
〒108-0014 東京都港区芝 5-14-15 機械工具会館3階  
電話 03-3454-7951 FAX 03-3452-7879

発行責任者

専務理事 宇佐美 浩

編集

日工販調査広報委員会  
委員長 高林利男(丸紅テクノシステム(株))  
委員 中村龍二(株トミタ)  
菊池一雄(株ナチ常盤)  
稲垣誠人(三菱商事テクノス(株))  
森田一志(株牧野フライス製作所)  
福島 透(SMFLキャピタル(株))